

令和6年2月29日

## 令和5年度 学校運営協議会評価書

名張市立桔梗が丘東小学校 学校運営協議会  
会長 福森 讓

### 1. 令和5年度 学校評価

令和5年度の学校経営計画において学校教育目標として「やる気・勇気・元気」を掲げ、この1年間学校長を中心に教職員の皆さんが取組まれてきたことについて高く評価するものであります。個々の目標については、前進した部分も数多くありましたが、今後の課題として考えなければならないこともあったかと思えます。学校経営計画のなかで改善方策として揚げられた項目について評価の視点で申し述べさせていただきます。

#### (1) 学力・コミュニケーションの向上に取り組む

基礎学力の定着については、タブレットやAIドリルの活用をはじめ教職員の皆さんの努力により向上しているものと考えます。これは、全国学力調査などの結果からも見えるものであります。

読書活動については、児童アンケート結果でも60%近くの児童が1週間に3回以上読書をしているとの回答で、ゲームやSNSよりは少ないですが思った以上に読書していることがうかがわれます。これは、教職員の皆さんの努力とともに“読み聞かせ”ボランティアの皆さんの地道な活動によるものと考えます。“読み聞かせ”ボランティアの方からの声ですが「児童はよく聞いてくれてとてもやりがいがあった。ただ、終わってから子どもたちと少し話せる時間があればと思った。」とのことで、またご配慮をお願いいたします。

家庭学習の時間については、児童アンケートからも殆どの児童がほぼ毎日している状況が見え、基礎学力の定着につながっているものと感じられます。

長年続けられているオアシスレンジャーの取り組みについては、成果としてあいさつできる子どもも少しずつ増えてきていますが、毎日登下校のボランティアをしている者として感じられることは、個人差があることです。おそらくほとんどの児童が教職員の皆さんにはあいさつしていると思いますが、毎日見ている地域の皆さんには、しない局面もあります。大人の側も屈せず努力を繰り返してしていくことが必要かと思えます。

#### (2) 中学校校区の小中学校教員が研修会等でさらに結びつきを強める

小中一貫教育の推進については、名張市教育委員会の重点目標であると認識しております。しかし桔梗が丘東小学校と桔梗が丘中学校の間で見えてくるものは、英語のTea Timeだけのように感じます。しかし、それでも児童が桔梗が丘中学校へ進めば生徒はきちっと学んでいるように感じます。このまま継続していただければ良いのではないのでしょうか。

### (3) 学校運営協議会の活性化を図る

この課題は、まさに私たちに突きつけられているものでありまして、形式化していることを大いに反省するものであります。しかし、今年度から重点項目について運営委員の担当をきめ、たちまちできることから取組んでいくことを決めたことは前進と考えます。

### (4) 地域との連携・協働を進める

「あそびつく in 東小」の目的は、コミュニティースクール推進の根幹であると考えます。「あそびつく in 東小」も土曜授業の一環からスタートして土曜授業がなくなり、コミュニティースクール活動と位置づけられたことの認識が薄かったように思いますが、今年度規約も改正し取り組みが進んでいくものと思っています。

また、あそびつくす以外の地域との連携については、登下校の見守り・環境整備・地域人材の活用等前向きに進んでいるものと感じますが、いずれも地域ボランティアに頼るものであり、その地域ボランティアの高齢化はいがめず、これからの大きな課題であります。

### (5) 校務や行事の精選、定時退校日の定着

教職員の確保と働き方改革という社会的な課題の中で重要なことであります。「あそびつく in 東小」といったコミュニティースクール活動であっても休業日・時間外での学校施設利用は精選されるべきであり、その認識の理解は深まっているものと感じました。

## 2. 学校から提示された「課題」や来年度の方向性について

### (1) コミュニティースクールの推進と学校運営協議会

コミュニティースクールの基本的な考え方は、地域が学校と連携し「学校運営に参画」「学校支援の充実」「地域貢献の場づくり」に参加する事であります。これは、学校だけで子どもの教育を行う時代ではないということでもあります。このために、学校と地域を結び付けていくのが学校運営協議会の役割とされています。

桔梗が丘東小学校では、学校運営協議会は令和2年（2020年）に設定されました。一方「あそびつく in 東小」は、平成10年（1998年）設立されました。「あそびつく in 東小」は当初土曜日授業としてカリキュラムのなかであり、学校授業への地域の貢献でありました。その後時代を経て土曜日授業もなくなり、「あそびつく in 東小」は桔梗が丘東小学校のコミュニティースクール活動の根幹となりました。これまで、「あそびつく in 東小」と学校運営協議会の関係ははっきりしないまま進んできましたが、令和5年度から学校運営協議会も「あそびつく in 東小」に深くかかわることとなっております。具体的には、学校運営協議会副会長に「あそびつく in 東小」の実行委員長がなり、学校運営協議会長も「あそびつく in 東小」の実行委員となっております。令和6年度においては、一層この関係を密にし学校運営協議会が学校と「あそびつく in 東小」との調整役を果たし、東小におけるコミュニティース

クール活動推進を図ってまいりますので、学校におかれても協働の立場にてお願いいたします。

また、東小におけるコミュニティスクール活動として、登下校の見守り、環境整備、地域人材の掘り起こし等の課題があります。登下校の見守り、環境整備については地域ボランティアの高齢化後継者不足という問題があります。この地域人材掘り起こしについては自治会・PTA等の協力をいただき、学校と学校運営協議会が一体となって掘り起こしにつとめる必要があります。地域人材におけるゲストティーチャーについては、学校が現在必要としている分野がなにか具体的に示していただければ、それぞれの人脈もいかし掘り起こしを行ってまいりますので、カリキュラムの提示をお願いいたします。

## (2) 地域防災訓練と小学生の参加

令和5年度においては、桔梗が丘東小校区の自治会（池の台区は美旗地区）が東小学校において防災訓練を実施し、東小児童・桔梗中学校生徒がそれに参加するという活動を行いました。令和6年度もそのようになるとは思いますが、小学生の参加の仕方については、もう少し東小校区の自治会と学校が協議する必要があると考えます。学校運営協議会も第2ブロック自治会実行委員会（仮称）において避難所開設訓練の調整役を指示されております。こういった形での防災訓練もコミュニティスクールの活動と考えられます。学校・自治会・学校運営協議会それぞれの立場での協働をお願いするものであります。

## 3, その他

オアシス運動に関わり、子どもたちが朝のあいさつを地域の人にできるよう何回も地域の大人から声掛けをする努力が必要と考えます。